

# 経 済 港 湾 委 員 会 記 録 (No.9)

1 日 時 令和5年9月29日(金)  
午前 9時59分 開会  
午前10時32分 閉会

2 場 所 第3委員会室

## 3 出席委員(9人)

委 員 長	吉 田 幸 正	副 委 員 長	渡 辺 修 一
委 員	田 中 元	委 員	香 月 耕 治
委 員	渡 辺 徹	委 員	世 良 俊 明
委 員	奥 村 直 樹	委 員	高 橋 都
委 員	本 田 一 郎		

## 4 欠席委員(0人)

## 5 出席説明員

産業経済局長	池 永 紳 也	総務政策部長	正 代 憲 幸
地域経済振興部長	森 永 康 裕	商業・サービス産業政策課長	楠 本 祐 子
次世代産業推進課長	森 永 健 一	観 光 部 長	辰 本 道 彦
観 光 課 長	酒 井 俊 哉	観光振興担当課長	大 前 亜 弥
港湾空港局長	佐 溝 圭 太 郎	総 務 部 長	天 本 克 己
港 営 部 長	宮 金 満	保全担当課長	牛 島 和 充
			外 関係職員

## 6 事務局職員

議 事 課 長	木 村 貴 治	委 員 係 長	伊 藤 大 志
---------	---------	---------	---------

## 7 付議事件及び会議結果

番号	付 議 事 件	会 議 結 果
1	審査日程について	29日は議案の審査、10月2日は議案の採決、陳情の審査及び所管事務の調査を行うことを決定した。
2	第165号 市有地の処分について	議案の審査を行った。
3	第167号 土地の取得について	
4	第168号 令和5年度北九州市一般会計補正予算（第3号）のうち所管分	
5	第160号 太刀浦コンテナクレーン更新工事（令和5年度）請負契約締結について	港湾空港局から報告を受けた。

## 8 会議の経過

○委員長（吉田幸正君） それでは、開会いたします。

本委員会に付託された議案は、お手元配付の一覧表のとおり3件であります。

審査日程につきましては、本日は議案の審査を行った後、契約議案について報告を受け、10月2日は議案の採決、陳情の審査及び所管事務の調査を行います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり。）

御異議なしと認め、そのように決定しました。

ただいまから議案の審査を行います。

議案第165号、167号及び168号のうち所管分の以上3件について、一括して議題とします。審査の方法は、一括説明、一括質疑といたします。当局の説明は、できるだけ要点を簡潔、明瞭にお願いいたします。なお、議案の説明は着席のまま受けます。

それでは、説明を求めます。総務政策部長。

○総務政策部長 産業経済局でございます。

産業経済局所管分の議案は、市有地処分1件、補正予算議案1件でございます。

まず、議案第165号、市有地の処分につきまして、タブレット端末資料の北九州市定例会議案書により説明いたします。

94ページをお開きください。

若松区ひびきの北に所在いたします市有地を、データセンター用地として売り払うものがございます。処分する土地の所在地は、若松区ひびきの北1番101、102、209、土地の面

積は6万2,822.37平方メートル、売払い予定金額は20億1,659万8,077円、売払い先は合同会社若松開発でございます。95ページに処分土地の所在図をおつけしておりますので、御参照ください。

次に、補正予算議案について御説明いたします。議案第168号、令和5年度北九州市一般会計補正予算のうち、産業経済局所管分につきまして、タブレット端末資料の北九州市補正予算に関する説明書により御説明いたします。

なお、金額につきましては万円単位で説明させていただきます。

9ページをお願いいたします。歳入です。

上から2番目、18款2項7目産業経済費国庫補助金の補正額14億2,900万円は、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した物価高騰対策事業に係る国庫補助金でございます。

続きまして、10ページをお願いいたします。

一番上、20款2項1目不動産売払収入の補正額22億6,731万円は、先ほど御説明いたしました学術研究都市地区におけます若松区ひびきの北に所在する市有地を売り払うものでございます。

続きまして、18ページをお願いいたします。歳出でございます。

8款2項1目商工業振興費の補正額8億8,800万円のうち、1つ目の中小企業等の次なる成長に向けた企業変革チャレンジ応援事業経費7億7,700万円は、企業変革に向けて一步を踏み出す中小企業等を応援するため、新事業展開、人材の確保、育成、女性の活躍促進等の経営課題に対し、フレキシブルに対応できる補助金の創設に要する経費でございます。

その下、生産性向上・産業振興に向けたロボット・DX推進事業経費4,500万円は、企業等の生産性向上や事業変革を図ることを目的といたしまして、ロボット・DX推進センターを中心に実施しておりますDX推進事業の拡充に要する経費でございます。

その下、小倉にぎわいプロジェクト経費6,600万円は、インバウンドと若者等の滞在時間の延長や、市内での宿泊につなげるなど、小倉城周辺での大型イベントと連携したにぎわい創出に要する経費でございます。

その下、8款2項3目学術振興費の補正額1億1,786万円は、学術研究都市地区におけます土地開発基金により先行取得しております土地の買戻しに要する経費でございます。

続きまして、19ページをお願いいたします。

8款3項1目観光費の補正額5億4,100万円のうち、1つ目のウェルカム北九州！キャンペーン事業経費5億円は、インバウンド需要を取り込み、消費拡大を図るため、市内周遊クーポンの配布や、宿泊つき商品の販売などのキャンペーン実施に要する経費でございます。

その下、キャッシュレス周遊普及促進事業経費4,100万円は、観光客等の利便性向上やデ

ータ収集、分析を行うため、市内観光施設のキャッシュレス決済の導入促進に要する経費でございます。

続きまして、23ページをお願いいたします。

15款1項1目公債償還特別会計繰出金の補正額21億3,345万円は、公債を活用して整備した土地の売却に伴います土地整備費等の繰上償還に要する経費でございます。

以上で産業経済局所管分の説明を終わります。よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願いいたします。

**○委員長（吉田幸正君）** 総務部長。

**○総務部長** 本委員会で御審議いただく港湾空港局所管の議案につきましては、土地の取得1件でございます。

タブレットの令和5年9月北九州市議会定例会議案により御説明申し上げます。

101ページをお願いいたします。議案書のページ数では97ページでございます。

議案第167号、土地の取得については、響灘臨海工業団地立地促進事業用地として土地を買い入れるため、北九州市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、付議するものでございます。取得する土地の地目は雑種地、所在地は若松区響町一丁目105番の33、土地の面積は1万9,858.62平方メートル、買入れ予定金額は3億1,076万5,715円でございます。次のページに土地の所在図がございますので、併せて御確認をお願いいたします。

以上で港湾空港局所管の議案についての説明を終わらせていただきます。よろしく御審議いただき、御承認賜りますようお願い申し上げます。

**○委員長（吉田幸正君）** これより質疑に入ります。

なお、当局の答弁の際は補職名をはっきりと述べ、指名を受けた後、簡潔、明確に答弁願います。

質疑はございませんか。高橋委員。

**○委員（高橋都君）** おはようございます。よろしく申し上げます。

まず、産業経済局に市有地の処分について伺います。データセンターの土地として買い入れるということで、土地を処分するわけですね。このすぐそばは、ひびきの小学校だと思うんですけども、今から工事とか、また、事業を始めるに当たっての安全性とか地域の方への説明とかというのはどうなっているかを教えていただきたいと思います。

それと、データセンターですけれども、これは大きな電力を使うわけなんですけど、八幡東区のヤフーですか、そこは100%再エネというふうに聞いているけど、今回のデータセンターの電力はどのようなものを使うのかということも教えていただきたいと思います。

次に、物価高騰対策についてです。中小企業の支援は、これまでも私たちは言っていますけども、成長も大事ですけど、継続という意味でも、またさらなる対策をしていただき

たいということは要望で言うておきます。

それと、小倉にぎわいプロジェクト、ウェルカム北九州！キャンペーン事業、キャッシュレス周遊普及促進事業についてお尋ねします。

小倉にぎわいプロジェクトなんですが、夜のエンターテインメント、宿泊をするために提供する計画だということですが、その詳しい流れを教えてくださいたいと思います。

それと、ウェルカム北九州！キャンペーン事業、これはインバウンドに特化したものと思うんですけど、今後福岡空港だけになるんですか。どういったところにクーポンの配布とか商品券の販売を行うのか、この流れもお聞きしたいです。実際にはどういうふうにごこの事業をやっていくか、5億円というかなりの金額だと思うんですけども、その内訳とかがあれば教えてください。

それと、キャッシュレス周遊普及促進事業について、これも観光客向けなんですけれども、データの収集と分析を行うためだけにキャッシュレス決済の導入促進をするのか。施設ということですから、店舗とかそういうところではなくて、公共施設とか観光施設ということだと思うんですけど、これについてももう少し詳しく教えてくださいたいと思います。以上です。

**○委員長（吉田幸正君）** 次世代産業推進課長。

**○次世代産業推進課長** データセンターの土地の売払いに関して御答弁いたします。

まず、ひびきの小学校を含めて、周囲の安全対策だとか地元の説明というお話でした。現状の予定ですけども、今議会で承認をいただきました後、実際に売払いということになりまして、事業者ではそれ以降、来春にかけて設計業務などに入って行く予定と聞いております。我々ももちろん下見をして、現場を見た際に小学校が隣にあるとか、周囲に住宅があるとかということは認識しております。我々からも周囲との調和とか安全対策は十分をお願いしますということも求めておりまして、事業者からも承知していますというお話をいただいております。今後、設計業務とかに入って行く中で、住民の皆さんに御説明できるようなものができ次第、速やかに説明したいというお話もいただいております。我々としてもできるだけ周囲との調和と安全対策等は重視していただくようお願いをしているところでございます。

それから、データセンターの電力の件でございます。すみません、東田のヤフーの電力の件はあまり承知しておりませんが、今この事業者から聞いておりますのは、電力については九州電力といろいろと協議を進めているというところです。九州電力は全国的に見て再エネ率というか脱カーボン率が高いというところも、今回の進出に至った経緯ということで、今後再エネ率は、脱カーボンですか、そういったところは高めていきたいというお話を聞いております。以上でございます。

**○委員長（吉田幸正君）** 商業・サービス産業政策課長。

**○商業・サービス産業政策課長** 小倉にぎわいプロジェクトについてお答えします。

まずは、こちらの事業の意義ですけれども、この秋、中村座の小倉城公演等も開催されますし、北九州国際映画祭も12月に開催される予定でございます。こうした大型イベントのチャンスを生かして、また、コロナで落ち込んでおりましたインバウンドの回復、こうしたものも回復の兆しを見せております。市民の方も大いに期待されておりますし、地元のまちづくり団体ですとか観光の事業者、商店街等からも町を挙げてお迎えしたいというような声を受けております。こうした官民連携により、このビッグイベントの開催効果を最大限に発揮しまして、夜の観光の充実につなげ、もう一泊、もう一か所の周遊促進を図って、お泊まりいただくようなお客様を増やしたいというのがこの事業の意義でございます。

具体的な流れというようなお尋ねでございましたけれども、この秋、11月には中村座の公演と併せまして、1か月程度小倉城周辺の光の演出、プロジェクションマッピングなど、そうしたところのにぎわいづくりを予定しております。同時期に竹あかりですとか小倉イルミネーションも開催されますので、そうしたものと連携しながら相乗効果を生み出したいと考えております。

また、国際映画祭に併せまして、若者に向けた企画などにも取り組みたいということで、現在国際映画祭の所管であります市民文化スポーツ局と連携していきたいということで進めておりますけれども、具体的な内容については今から予算の御承認をいただきました後に進めていきたいと考えているところでございます。以上でございます。

**○委員長（吉田幸正君）** 観光振興担当課長。

**○観光振興担当課長** ウェルカム北九州！キャンペーンについて御説明をさせていただきますと思います。

町なかにも多くの外国人の観光客の方が来られるようになりまして、商店街とか商業施設の皆様からもインバウンドをぜひお迎えしたいと、どういうふうに呼び込んだらいいかという声も高まってきております。そういった中で今のセミナーとか勉強会とかをしながら、町を挙げて盛り上げていきたいという機運も醸成してまいりましたが、今回ウェルカム北九州！キャンペーンというものを町の方と一緒に実施することにより、多くの観光客の方を取り込みたいと考えております。

この流れですけれども、まず1つは、8月のアンケート調査で、福岡空港から入国された方の大体10%が北九州に来られているということが分かっておりますので、こちらをもっと多くの方に来ていただきたいということで誘客を図ります。あとは、福岡空港だけではなくて関西国際空港とかクルーズ船ですね、いろんなところから入国されておりますので、そういった観光客の方についてもぜひこのキャンペーンを機に、北九州に呼び込みたいと考えております。

旅行の販売に当たっては旅マエの情報というのがとても重要になりますので、海外の旅

行サイトでこのキャンペーンを売り出したりとか、旅行商品として販売するような企画を今後プロポーザルで業者が決定して協議を進めていくこととなりますが、そういった流れでこのキャンペーンを実施していくこととしております。

内訳に関しましては、誘客に関する予算として4.6億円計上させていただいております。こちらもプロポーザルになるので、よりよい誘客につながる御提案を民間の力でいただくということが前提になっておりますが、市内周遊クーポンが大体5,000円で3万人を呼び込む、それから、宿泊に関しては4万人泊ということで検討しております。

それから、魅力向上事業ということで、小倉城や皿倉山の高付加価値化とか資源の磨き上げということで4,000万円ほど計上させていただいております。以上でございます。

**○委員長（吉田幸正君）** 観光課長。

**○観光課長** キャッシュレス周遊普及促進事業の御質問について御回答申し上げます。

まず、データの収集が目的ですかという御質問をいただきました。もちろんデータの収集も大きな目的の一つでございますが、そもそも現在、日本国内の観光客の方、また、海外の方はもっとなんですけれども、キャッシュレス、現金を使わないという方がかなり増えております。これに対しての対応がまだまだ市内の観光施設は十分じゃないという認識の下、これらを促進することによってインバウンドも含めた観光客をより多く呼び込み、また、より快適に周遊、回遊していただきたい。そういった目的で実施するものでございます。

中身についてももう少し詳しくということでございました。私どもとしては、キャッシュレス決済にはキャッシュレス端末が必要になってきますので、その導入支援をしたいと思っております。対象は、今のところ市内の観光施設とさせていただいておりますが、これはいわゆる観光施設と、それから、代表的な例で申しますと文化施設、それから、有料公園、そういった入場等に経費がかかり、今それを主に現金でやり取りしているところのキャッシュレス化を進めることを最優先で考えてございます。以上でございます。

**○委員長（吉田幸正君）** 高橋委員。

**○委員（高橋都君）** ありがとうございます。データセンターですけれども、今後のこととなりますし、電力が100%再エネかどうかというのはまだ分からないということですが、これも100%に近づくようにしていただきたいと思っております。

それと、地域の方たちに説明をしっかりと行わないと、環境とか安全性とか、そういった面で地域の方の理解が必要かと思っておりますので、その辺もお願いしたいと思っております。

次に、インバウンドの小倉にぎわいプロジェクトです。これは夜に特化したということですか。宿泊につなげるということで、それではよろしいのでしょうか。

**○委員長（吉田幸正君）** 商業・サービス産業政策課長。

**○商業・サービス産業政策課長** はい、ライトアップですので、夜の事業と考えておりま

す。以上でございます。

**○委員長（吉田幸正君）** 高橋委員。

**○委員（高橋都君）** ありがとうございます。北九州に来られても宿泊せずに素通りして、宿泊はよそでということもありますけれども、ぜひその辺も力を入れていかないといけないと思っていますので、よろしく願いいたします。

次に、ウェルカム北九州！キャンペーンですが、これは、事業者にクーポンの配布とか宿泊つき商品の販売を丸投げとっていいのでしょうか。

**○委員長（吉田幸正君）** 観光振興担当課長。

**○観光振興担当課長** 丸投げという形ではないですが、個人旅行に関しましては、旅行会社の商品として販売していただく形だったりとか、または交通事業者と連携しながら、そこでの販売に乗せていただくような形を考えております。

また、団体旅行に関しては、私どももインセンティブということで個別に営業活動を行っておりますので、そういった中で誘客を図っていきたくと考えております。以上でございます。

**○委員長（吉田幸正君）** 高橋委員。

**○委員（高橋都君）** ありがとうございます。インバウンドというと、相手国はどこになるのかと思うんですけれども、以前私たちも勉強会をしましたね。出発する前に計画することもありますので、先に外国に行ってそういう事業者を探して、北九州にぜひ寄ってほしい、ぜひ来てほしいという、そういうPRも必要かと思えますけど、その辺について何かあれば。

**○委員長（吉田幸正君）** 観光振興担当課長。

**○観光振興担当課長** これまでも様々な海外の旅行社とつながっております、今回の企画の予算が議決をいただきましたら、こういった情報を流しながら、しっかりと連携を図っていきたくと思っております。以上でございます。

**○委員長（吉田幸正君）** 高橋委員。

**○委員（高橋都君）** 空港とかフェリー乗り場とかもちろん重要だと思いますけど、ああいったところに行つての海外へのPRも必要かと思えますので、お願いします。

あと、キャッシュレス周遊普及促進事業ですが、これは実際に観光施設とかへの支援は、機器の導入を支援するという事でいいかと思うんですけど、その支援の金額とか、割合とかはもう決まっているのでしょうか。これが決まってからということになるんですけど、どういうふうに考えていますか。

**○委員長（吉田幸正君）** 観光課長。

**○観光課長** 今、まだ決定をしておりますが、もちろん内部で検討しております。事業者といろいろ情報交換をする中で、こういう方向かなと思つているのは、導入というのは



機器の整備ですけれども、この経費は予算の中で、基本的には10分の10の補助という形で導入を応援したいと思っております。

それと、今年度は、もう既にそれぞれの施設がキャッシュレスの導入を前提としない予算を組んでいますので、今年度導入後の手数料分についても、この予算の中で配慮していきたいと思っております。以上でございます。

**○委員長（吉田幸正君）** 高橋委員。

**○委員（高橋都君）** ありがとうございます。施設にとってこれは大変いい支援事業かと思うんですけども、費用を全部市で負担してくれるということなんですが、実際にはどのくらいの数の施設を考えているんですか。

**○委員長（吉田幸正君）** 観光課長。

**○観光課長** 私どもとしては、今予算は想定として50か所分を用意しております。ただ、ゲートの数とかがございますので、最終的には40か所前後の導入ができればと考えてございます。以上でございます。

**○委員長（吉田幸正君）** 高橋委員。

**○委員（高橋都君）** ありがとうございます。そしたら、その後、実際にデータの収集とかもちろん協力していただくことにつながるということによろしいですか。いいです。ありがとうございます。

**○委員長（吉田幸正君）** ほかにございましたら。本田委員。

**○委員（本田一郎君）** よろしく申し上げます。私から3点申し上げます。

まず1点目がデータセンターの誘致について、企業誘致の経緯と誘致の条件、インセンティブ等があれば教えてください。

2点目が今後の可能性で、誘致することによってどれくらいの雇用を創出するのかと、データセンターが来ることによって、その波及効果でまた新たな誘致が行われるのかどうか、展開できるのかどうかを教えてください。

3点目は、先ほど答弁いただきました今後の工事のスケジュールとかりスク対策です。騒音とか通学路とか、先ほど高橋委員からもあったように、市民に対する説明会ということで、私も地元ですからよく通るんですけども、工事する際に全て通学路に当たりまして、かなり児童数も多いです。これは答弁の必要はございませんけれども、丁寧な説明とか安全対策を強くお願いしたいと思います。

以上、答弁2点お願いいたします。

**○委員長（吉田幸正君）** 次世代産業推進課長。

**○次世代産業推進課長** まず、データセンター誘致の経緯とインセンティブですけれども、当業者とは2年ぐらい前から少しずつ接触しておりまして、いろんな施策、対応だとか、その規模だとか、いろいろなお話を伺いながら、局全体として連携を取りながらやってき

たというところがございます。最近になってバックアップ首都というところもありまして、それで加速して一気に契約にたどり着いたというところではあります。

インセンティブにつきましては、市で企業立地補助金とかの制度もございます。これはだんだん計画が明らかになってきてから対象になるという性質のものですから、今協議をしている状況です。なので、今の段階で特にといいものではございません。

それから、雇用の件ですけれども、今50名程度を見込んでいるという話を聞いております。こちらの雇用ですけれども、いずれは地元採用も積極的に進めていきたいということでもあります。一方で、データを扱うようなIT関係のスキルを持った高度人材について、北九州市は非常に理工系人材が多いということも評価いただいたところですので、我々としてもそこは非常に期待しているところがございます。

続いて波及効果ですけれども、データセンターができるということによって直接的な雇用もございますけれども、本市の優位性や首都圏のバックアップ拠点性みたいなのも広くPRされることだと思っております。これを呼び水に、新たなデータセンターですとか、それにとどまらず、本社工場、本社機能、そういった関連のIT企業なんかの呼び水になることを期待しております。以上です。

**○委員長（吉田幸正君）** 本田委員。

**○委員（本田一郎君）** ありがとうございます。雇用が50名でバックアップ首都のPRができるということと、今のところインセンティブはないということで、今後、企業立地の対策費が発生する可能性があれば、また教えていただければと思います。以上です。

**○委員長（吉田幸正君）** ほかがございましたら。ここで副委員長と交代いたします。

（委員長と副委員長が交代）

**○副委員長（渡辺修一君）** 吉田委員。

**○委員（吉田幸正君）** 外国人のインバウンド、ウェルカム北九州！キャンペーン、これは大変大きな予算だと率直に思っています。5億円ですからね。ですから、使い方を間違えると、物価高騰対策費を外国の方に5,000円のクーポンでばらまいたと言われて、事業の方向が相当ずれてくると思うんですよね。それで、この事業の目的について教えてほしいと思います。

それと、このクーポンの有効期限と、クーポンを使うのに電子決済が必要だと思うんですけど、既存の電子決済の機能は北九州に相当あると思いますし、独自で言えばペイチャがあると思います。今回のこれにおいて、新たな外国人向けの電子決済システムを開発、運用をされる予定なのかということをお教えください。以上です。

**○副委員長（渡辺修一君）** 観光振興担当課長。

**○観光振興担当課長** ウェルカム北九州！キャンペーンの件を御説明させていただきます。

目的についてですけれども、今回物価高騰対策ということで、コロナ後のインバウンド

の需要を確実に北九州に取り込んで、物価高騰の影響を受ける地域で、しっかりとインバウンドの方にいろいろと消費していただいて、地域の観光事業者を支援するというのが大きな目的でございます。それに加えて、今回ウェルカム北九州！キャンペーンを実施することにより、外国人の動向調査ということでアンケート、それから、データ収集も行いながら、しっかりとインバウンド誘客や消費にどうつなげていくかというところも考えて、今後の誘客戦略につなげていきたいと考えております。

また、インバウンド誘客に当たっては、環境整備も必要でございます。現在、町なかでもいろんな機運が醸成しているということで、先ほどもお話しさせていただきましたけれども、しっかりと外国人の方を受け入れる環境整備も併せてやりながら、北九州をPRするというのも目的として考えております。

そして、電子システムということで、今回電子クーポンの利用を考えているんですけれども、新たに開発するのは時間的にもとても難しいので、こちらは今から公募になりますけれども、プロポーザルの中で御提案された既存のシステムを活用して、電子クーポンという形で使わせていただくことになるかと思えます。以上でございます。

**○副委員長（渡辺修一君）** 吉田委員。

**○委員（吉田幸正君）** 皆さんもそうでしょうけど、我々も物価が高くなったなど率直に思っていて、それは観光事業者だけじゃないですよという声は必ず出てきます。それを政府の物価高対策費を使って対策をするわけですが、結果それが市中に大きく広がっていくことがやっぱり大事で、この事業が市民所得の向上につながって、税収が上がって、より充実した福祉や教育とかとの循環を生みたいという。今戦略という言葉が使われたんで、非常にありがたいと思っておりますけど、ここで期限を設けてお金を配って終わるのでは全く意味がないと、皆さんも思っているんじゃないかとよく分かりました。何でこの店がめちゃくちゃ外国人にはやっているか分からないとか、なぜこれが売れるのか分からないけど、それぞれの需要とか向こうのバズり方とか、結果それがデータとして分かって、それを店主の人たちとか町の人たちに伝えていくことで、活性化につながるということが一つの理想の形だろうと思えます。外国の人たちがどういうところでお金を使ってもらったかとかということと、こうですよ町の人たちに戦略的に提供してあげることまでがセットだと思っております。応援していますので、頑張ってくださいと思います。

これはあと一つ、意見というか要望なんですけど、平成中村座が始まりますので、大変話題になっています。ある苦情というか要望があるのは、物すごい高級な着物を皆さんここぞと着ていくわけですが、タクシーに乗る場がないと、アルモニーサンクの時もミクスタの時も言われました。小倉城でも言われています。警察に言うと、道路上は使えませんというような話でいつも終わっちゃうんですが、恒久的には無理でも、そういう特別な事情があってお客様の需要があるときには、西小倉とかに行ったらあるんじゃない

いですかということではなくて、道路側とよく協議をしてもらって、お客様のニーズには応えてほしいと、これは要望としてお願いしたいと思います。

あとはもう頑張ってください。我々も一生懸命応援します。以上です。

**○副委員長（渡辺修一君）** 委員長と交代します。

（副委員長と委員長が交代）

**○委員長（吉田幸正君）** ほかによろしいですか。

では、ほかになければ、議案の審査を終わります。

ここで、本日の報告に係る職員を除き、退室のお願いをいたします。

（執行部入退室）

次に、議案第160号、太刀浦コンテナクレーン更新工事（令和5年度）請負契約締結についての報告を受けます。

この議案は、建設建築委員会に付託され、審査されていますが、予算執行局である港湾空港局から報告を受けるものです。

それでは、報告を求めます。保全担当課長。

**○保全担当課長** 技術監理局より提出し、建設建築委員会が所管する議案につきまして、予算執行局として御報告申し上げます。

令和5年9月北九州市議会定例会議案を御覧ください。タブレットの82ページでございます。

議案第160号、太刀浦コンテナクレーン更新工事（令和5年度）請負契約締結についてでございます。

本工事は、荷役作業の安全確保と効率向上を図るため、太刀浦第2コンテナターミナルの老朽化したコンテナクレーンの更新を行うものでございます。

契約金額は13億1,250万9,000円、契約方法は一般競争入札、工期は契約締結の日から令和7年9月30日まで、契約の相手方はJFEエンジニアリング株式会社でございます。

以上で契約締結議案についての説明を終わらせていただきます。よろしくお願いたします。

**○委員長（吉田幸正君）** ただいまの報告に対し、質問、意見をお受けいたします。

質問、意見はございませんか。

ほかになければ、以上で議案の報告を終わります。

次回は10月2日午前10時に開会をいたします。

以上で本日は閉会いたします。

---

経済港湾委員会 委員長 吉田幸正 印  
副委員長 渡辺修一 印